

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第4区分
 【発行日】令和6年3月18日(2024.3.18)

【公開番号】特開2022-105578(P2022-105578A)
 【公開日】令和4年7月14日(2022.7.14)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-128
 【出願番号】特願2022-78431(P2022-78431)
 【国際特許分類】

C 2 3 C 14/08(2006.01)

H 0 1 B 5/14(2006.01)

10

【F I】

C 2 3 C 14/08 D

H 0 1 B 5/14 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月8日(2024.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明基材と光透過性導電層とを厚さ方向にこの順で備え、
 前記光透過性導電層が、結晶質膜であり、クリプトンを含有し、
 前記光透過性導電層がホール移動度 μ ($\text{cm}^2/\text{V}\cdot\text{s}$) およびキャリア密度 $n \times 10^{19}$ (cm^{-3}) を有し、 μ に対する n の比率が 4.4以上2.0以下である、透明導電性フィルム。

【請求項2】

30

前記光透過性導電層が、インジウム含有導電性酸化物を含有する、請求項1に記載の透明導電性フィルム。

【請求項3】

前記ホール移動度が、 $5 \text{ cm}^2/\text{V}\cdot\text{s}$ 以上 $40 \text{ cm}^2/\text{V}\cdot\text{s}$ 以下である、請求項1または2に記載の透明導電性フィルム。

【請求項4】

前記キャリア密度が、 $100 \times 10^{19} \text{ cm}^{-3}$ 以上 $170 \times 10^{19} \text{ cm}^{-3}$ 以下である、請求項1から3のいずれか一つに記載の透明導電性フィルム。

【請求項5】

前記光透過性導電層がパターンングされている、請求項1から4のいずれか一つに記載の透明導電性フィルム。

40